

# 日本一の給食食育推進事業はじまる



町では、今年度から「日本一の給食食育推進事業」に取り組んでいます。これは、地元農産物などを使った「町民全体で支える給食」を通じて、子どもたちへの食育推進とともに、愛郷心を育てることを目的としています。

特に、生産組合を通じた朝採り野菜や旬の食材を取り入れた「地産地消」、地域の方からの指導や食文化の学習による「体験や伝承」、生産者など給食に関わっている方々の「顔が見える給食」などの取り組みを推進します。

5月はアスパラガス（加藤勝利さんほか）、6月はニラ（森純一さん）、7月はきゅうり（星川俊則さんほか）の生産者を紹介するとともに、生産者の方と一緒に給食を食べました。

今後、舟形町の食材使用100%を目指した「めがみちゃん給食」や、保護者を対象にした給食参観などを行う予定です。また、一流シェフから指導をいただき、よりおいしい給食を目指していきます。地域全体の取り組みへのご協力をお願いします。

▼問い合わせ／  
舟形町教育委員会教育課学事係  
☎(29) 8410



7月9日、シマノジャパンカップ鮎釣り選手権大会・南東北大会が最上小国川で開催され、夏空の下、過去最多の206名の太公望が釣果を競い合いました。この日、参加者が釣った鮎は光生園に寄贈されました。

## 広報 ふながた 7

### もくじ ~Contents~

- p3..... ふなびく
- p4..... <特集>ながえもん、婚活をする。
- p8..... 舟形町消防団ポンプ操法大会・夏季非常招集訓練
- p9..... 躍動！「チーム舟中」
- p10... まちのわだい
- p12... ふれあい広場
  - ・舟形町立舟形ほほえみ保育園保育士採用試験
  - ・ゆるキャラグランプリ2017
- p14... 青いシグナル、ぼっぼ舎通信
- p15... 舟恋、カメラアングル、戸籍の窓
- p16... 第2回最上小国川写真コンテスト

#### 町長コラム

#### 縄文の女神

先日、東京で「縄文文化発信サポーターズ」総会が開催され、出席してまいりました。この会は日本固有の文化である縄文文化を、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで世界に向けて発信しようとする、全国関連市町村の組織です。今年も総会ステージの卓上には、新潟県十日町市の土器の象徴「火焰型土器」と舟形町の土偶の象徴「縄文の女神」が展示されました。今回は、日本美術が専門の大学教授も出席されていて、「縄文の女神」は現代人の感性ではつくれないと、縄文人の精神性に基づく芸術的価値を絶賛していただきました。「縄文の女神」は、9月下旬からは京都国立博物館「国宝展」に展示され、来年はパリで開催される「ジャポニスム2018」にも出展される予定です。

これほど、人気を博している「縄文の女神」ですが、縄文時代の国宝6点のうち、出土した市町村が所蔵していないのは、舟形町の「縄文の女神」だけだそうです。私も縄文文化の知識を深め、いつか「縄文の女神」が本場に里帰りできるように努力してまいります。

森 富広

